

ご挨拶



保健学科検査技術科学専攻ウェアセレモニー

その先の向こうへ



東北大学病院長
張替 秀郎

東北大学病院にとってもっとも重要な責務は新しい医療を創ることですが、そのためには臨床医の視点からの医学研究が必須です。そのために臨床研究医 (physician scientist) が研究に集中できるような新たな研究所を立ち上げることにいたしました。研究所の名前は、もっとも明るい1等星の名前をとってSIRIUSです。

また、組織をつくるだけでなく、研究者

が活用できるような基盤を作ろうと考えています。その一つは関連病院の先生方と連携し構築しつつある医療ビッグデータです。この膨大な臨床データを利用することにより、医療AIの開発や大規模な臨床研究が可能となります。

これからの世代に財産を残し、東北大学で医師となり研究者となる方々の夢がかなうよう、東北大学病院はその先の向こうを見つめて進んでまいります。

Essay
時々肩の力を抜いて

東北大学病院のスタッフの毎日は緊張の連続です。少しでも緊張が取れるように東北大学病院ではいろいろな企画を催しています。例えば、ホスピタルモールでのコンサート、外来スペースでの寄席などです。ちなみに、今年2月には仙台フィルハーモニー管弦楽団の方々に来ていただきました。当院の企画ではありませんが、この間はサンドウィッチマンさんが東北大学病院を病院ラジオで取り上げてくれました。

これからも、スタッフが時々肩の力を抜くことができるような環境をつくっていきたいと思っています。



医学部学生後援会に一層のご理解ご支援を



医学部学生後援会会長
黒澤 一

大学でも保護者の会がある、とびっくりされている方も多いでしょう。私も最初はそういう感じてした。違和感の背景の一つは、私たち保護者の年代が経験したような鷹揚な時代と厳しい今の時代とのギャップがありそうです。勉強ひとつとっても、以前とは比べ物にならないくらい量が多くレベルも高く、さらに難しいものになっています。一生懸命に勉学その他の学生生活に励む学生さん達

に、優しく見守る保護者の眼があるのは大切なことと実感しているところです。

保護者各位におかれましては、本後援会にご加入いただき、学生さん達を私共と一緒に応援していただけないかと願う次第です。今後とも、本後援会の活動にご理解ご支援を賜れましたら幸いに存じます。

Essay
医学部学生のさまざまな活躍

最近、民放ローカルテレビで感染症予測情報を知らせてくれます。実は、そのAIのかんりの部分を本学医学部学生が作っています。共同通信などで学生さん達の活躍が配信されました。また、民陵新聞では、筆頭著者で素晴らしい英文論文を発表した現役医学部女子学生のインタビュー記事が掲載されていました。彼女だけではなく、論文を英文で発表している学生が多数です。また、自発的に社会活動に取り組み、子宮頸がんのキャッチアップ接種に取り組んだ学生さん達の姿も河北新報で報じられました。学生さん達は皆、頼もしく、誇りに思います。





①基礎医学修練発表会実行委員のメンバー ②医学科白衣式より ③遺骨返還式の司会の学生さん ④～⑥医学部学生奨学賞受賞者の皆さん ⑦白衣に身を包んだ保健学科検査技術科学専攻の学生さん ⑧・⑨保健学科卒業研究発表会より

社会実装が求められる時代に



医学部副学部長
中澤 徹

変わりゆく社会の中で、医療に携わる各々に求められる役割も変わってきております。最近では、予防を中心とした産業のアプリやデバイス開発に、医師の立場から課題をフィードバックするような役割も期待されております。

東北大学も国際卓越研究大学に認定され、社会に役立つ医療を目指し、更に人材育成や社会実装に係る領域の充実化が図られていきます。学生さんには、社

会現象に興味を持ち、教員やご家族といろいろなことを話し、健康活動における社会のニーズを集めてほしいと願っております。AIのプログラミングを学びスタートアップを立ち上げるなど、新たなキャリアパスも広がっていくことと思います。

引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医学研究を志す若者に期待すること



医学部副学部長
清水 律子

遺伝子組換え実験や動物実験はライフサイエンス研究の発展に貢献しています。一方、これらの実験技術には倫理的・社会的懸念が避けられないため、ルールや規制を遵守した適切な実験遂行が求められています。動物・遺伝子実験支援センターは、東北大学の動物実験および遺伝子組換え実験におけるコンプライアンス遵守を支援し、研究者が適切かつ円滑に研究を進められるよう手助けをして

います。

ゲノム編集技術やAI技術の発展など、研究環境は急速に変化していますが、次世代の医学を担う若者には、先人達が築き上げてきたモラルを守りつつ、進化を続ける時代に柔軟に対応し、さらなる医療の向上に積極的に貢献してほしいと願っています。

大学行事・カリキュラム（2025年度前期）

4月 3日	入学式・医学部入学者懇談会
8日	授業開始
17日	保3年 看護学専攻ウェアセレモニー
5月 24日	東北大学懇談会医学部 分科会
7月 30・31日	オープンキャンパス
9月	保3年 放射線技術科学専攻ウェアセレモニー
	保3年 検査技術科学専攻ウェアセレモニー

開催決定！ 東北大学懇談会 医学部分科会



今年も「東北大学懇談会」の午後の部として「医学部分科会」を開催いたします。学生後援会会員の皆様におかれましては、この機会に是非ご参加ください。

- 開催 2025年5月24日(土)
14:00～17:00 (予定)
- 会場 東北大学星陵キャンパス
- 内容 全体会、キャンパスツアー、教員との懇談など (予定)

詳細は決まり次第、本学ホームページ等にてお知らせいたします。

助成行事のご報告

医学部学生後援会が助成しました

2025年2月までに東北大学医学部学生後援会が助成した行事のご紹介と、2025年度に開催される医学祭についてお知らせします。

9/11

保健学科放射線技術科学専攻ウェアセレモニー

医学部保健学科放射線技術科学専攻主任
医学系研究科 画像解析学分野 教授

金田 朋洋

放射線技術科学専攻ウェアセレモニーは9月11日に開催されました。このセレモニー後には病院実習が始まるとともに、卒業研究も始まります。さらに国家試験も意識し始める時期かと思えます。まさに大切な時期ですが、開始30分前の教室は相当騒がしく、不安と苛立ちを感じたのは事実です。

その後、石井直人医学部長のご挨拶からセレモニーが開始され、来賓ご挨拶などをいただきまして、ウェア授与になりました。一人ずつ前に出て教員からウェアを手渡され、ウェアを着て、記念写真を撮ります。ほんの数分の出来事ですが、クラスメートと全教員、そして医学部長と来賓の前で一身に注目を浴びての数分は本人にとって相当長く感じられたことでしょう。そして終わる頃には、引き締まった顔つきになっていました。

手間と時間のかかるセレモニーで教員の間でも簡略化の話が出ますが、学生の皆さんにとってこの緊張感を味わっておくことは社会に出る前にとっても大切なことと思った次第です。残りの学生生活における実習と勉強に真摯に取り組み、立派に卒業していくことを期待します。



白衣授与の様子



放射線技術科学専攻集合写真



引き締まった面持ちの学生達



医学部保健学科
放射線技術科学専攻3年
小野寺 悠樹

決意表明文



2024

4月

5月

6月

7月

8月

9月

9/11

10月

9/27

第67回東医体

9/27

保健学科検査技術科学専攻ウェアセレモニー

医学部保健学科検査技術科学専攻教務主任
医学系研究科 臨床生理検査学分野 教授

三浦 昌人

9月27日検査技術科学専攻のウェアセレモニーが開催されました。コロナのパンデミックにより2020年度は学生全員がオンライン参加となり、その翌年からは制限付きの参加で開催していましたが、今年度からようやくコロナ前と同様の形で開催することができました。加えて今年度は25名を超える保護者の方にも参加していただき、学生の皆さんの門出を共に見守りました。

石井直人医学部長のご挨拶に始まり、菅原明学生後援会副会長と菅原新吾大学病院臨床検査技師長から温かい励ましのお言葉をいただきました。その後、教員と一緒に学生一人一人が白衣に袖を通し、その様子を記念写真に残しました。代表学生による決意表明の際には、学生は全員起立し、クラス代表の佐々木心さんが医学部長を前に思いの丈を述べ、セレモニーは終了し

ました。40分足らずではありましたが、中身の濃い、温かいセレモニーであったと思います。学生の皆さんは、このセレモニーでの決意を胸に病院実習を行い、卒業後は病院や企業、研究機関へとますますその活躍の場を広げていてくれるものと確信しています。



白衣授与の様子



検査技術科学専攻集合写真



決意表明



医学部保健学科
検査技術科学専攻3年
佐々木 心

決意表明文



2/3
医学科白衣式

医学科運営委員会副委員長(臨床系)
医学系研究科呼吸器内科学分野 教授

杉浦 久敏

2025年2月3日、第15回医学部医学科白衣式が星陵オーディトリウム講堂で挙

行されました。白衣式はCBT試験やOSCE試験に合格した医学生が、晴れて臨床実習に参加を許可される記念すべき式典です。保護者の方々も参加し、晴れやかな雰囲気のもと開催されました。新5年生は少し緊張した面持ちでしたが、出席者の方々からの温かい拍手が送られ、どこか誇らしくも見えました。

最初に石井直人医学部長から、「医師としての自覚と責任を持ち、社会に貢献するための知識と技量を身に付けてほしい」と挨拶があり、続いて張替秀郎東北大学病院長、浦山美輪看護

部長、齋政博診療技術部長からも温かい激励のお言葉を頂戴しました。石井医学部長はじめ出席した教授らから学生一人一人が白衣を着せてもらい、代表の小川真太郎さん、島田莉名さんの2名がこれまでの感謝の言葉や来るべき臨床実習に向けた決意表明を述べました。

白衣式で授与される白衣は、毎年、医学部学生後援会からご支援をいただき購入しております。この場をお借りして関係の皆様にご礼申し上げます。



白衣授与の様子



白衣を授与する石井直人医学部長



医学部医学科新5年
小川 真太郎



医学部医学科新5年
島田 莉名

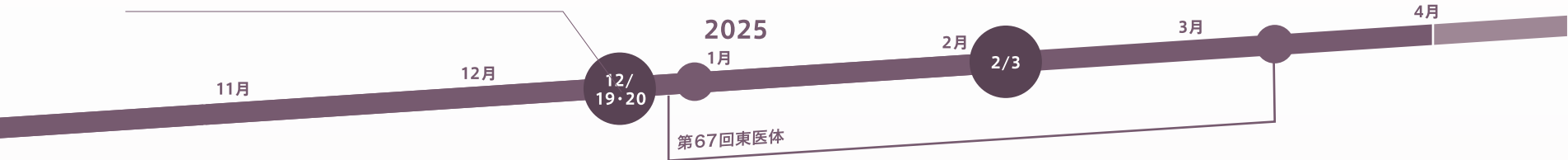
決意表明文



基礎医学修練発表会

→P.6

発表会は臨床講義棟大講堂・中講堂の2カ所で行われ、留学中の学生はオンライン発表を行いました。



医学分館 学生用図書の整備

附属図書館医学分館長
藤森 研司

医学分館では、毎年、医学部学生後援会からのご支援により、学生用図書を充実させております。今年度も医学・保健学の図書を84冊ご寄贈いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

当館の蔵書数は約39万冊で、購入・受贈により例年約2,000冊の図書を新たに追加しております。新刊本を中心に学習や研究に必要な図書を職員が選定しておりますが、リクエストも随時受け付けておりますので、学生の皆さんにご活用いただければ幸いです。予算と収書方針の範囲内という制約はございますが、極力お応えしたい

と思います。

また、当館では、冊子体の図書のほか、オンラインで読むことができる電子ブックも適宜整備しております。サブスクリプション契約も行っており、医学・医療関係の書籍が約1万冊ご利用いただけます。オンライン認証により自宅等の学外からも読むことができますので、蔵書検索システムで検索し、ぜひともご活用いただきたいと思います。

なお、館内の新着図書コーナー、当館Webサイト、公式Xにて、新着図書・新着電子ブックを随時ご案内しておりますので、合わせてご利用ください。



今回ご寄贈いただいた図書



医学分館3階 図書書架

8/1~8/17、12/24~3月
第67回東医体結果

東医体公式



第67回東日本医科学生総合体育大会(東医体)で、卓球部男子と弓道部が団体戦1位、陸上部男子とヨット部が総合3位に輝きました。東北大学は夏季競技で総合7位入賞。詳細や冬季競技については右上のQRコードから東医体公式HPをご覧ください。また、第58回全日本医科学生体育大会王座決定戦(全医体)に進んだ卓球部男子は金メダル、バレー部男子が銅メダルを獲得しました。



第26回東北大学医学祭開催のお知らせ

学生後援会会報をご覧の皆様、初めまして。平素より我々学生に多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

第26回医学祭を2025年10月12・13日の両日に開催することになりました。本医学祭は70年近い歴史があり、ほぼ3年に一度開催され、地域の皆様に医学に親しんでいただく場を提供してきました。今回は「医風堂々」をテーマとし、地域の方々と学生が交流しながら、医学・医療についてのお互いの理解を深める医学祭にすることを目指して準備を進めております。

今回この場をお借りして、皆様に謹んで寄付のお願いを申し上げます。皆様からのご寄付は、宣伝費用や企画経費など、医学祭の運営に使わせていただきます。同封いたしました寄付のお知らせもご一読いただけますと幸いです。何卒

ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医学祭実行委員長 医学部医学科4年
趙 世源



第25回医学祭の様子



第26回医学祭ロゴ

医学部 NEWS & TOPICS

基礎医学修練発表会

開催 2024年12月19・20日 会場 臨床講義棟大講堂・中講堂

医学科運営委員会 副委員長 (基礎系)
医学系研究科 病態病理学分野 教授

古川 徹

基礎医学修練は東北大学医学部のカリキュラム上、最大の特徴と言えるもので、3年生後半の8月中旬から12月中旬までの4ヵ月間、学生が研究室に配属され、研究オンリーの生活を送る期間となっています。まさに、東北大学の「研究第一」を体現するプログラムであり、医学研究がどのようなものかを身をもって学ぶ期間になります。この4ヵ月の間は各々の研究室に1-2名が配属される少人数プログラムの形で、まさにマンツーマンの指導を受けることになり、学生個々が独自のユニークな体験を得ることになります。

数名の学生さんは海外ラボでの研究を行いました。その4ヵ月の成果を発表するのがこの基礎医学修練発表会であり、多種多様な内容の研究発表が行われました。基礎医学修練発表会は全て学生さんによる企画運営により行われ、適切なタイムキープにより、よくオーガナイズされた形で発表と質疑がスムーズに進行しました。学生さんは同級生にわかるように発表する必要があり、それぞれ内容はまちまちですが、それなりによく工夫されていました。各発表演題に対して質問も必ずあり、聴講学生は発表内容の理解

を深めることができ、発表学生は自分がよく気づいていなかった部分を知ることができたことと思われます。この基礎医学修練での経験を活かして、ぜひ医学研究に進進する医学者になってほしいと思います。



①古川徹教授 ②最優秀賞を受賞した学生の皆さん ③優秀賞を受賞した学生の皆さん

実行委員会委員長より

医学科3年次
基礎医学修練発表会

実行委員会委員長

但木 南咲



今年度は基礎医学修練を履修した全学生が発表し、発表演題数は104件にのぼり、多くの発表が行われました。約4ヵ月間という短い期間ではありましたが、学生達は自らのテーマに真摯に向き合い、試行錯誤を重ねて自分だけの研究を形にしていました。発表テーマは多岐にわたり、学生達の個性が光る発表となりました。4ヵ月の間の経験は東北大学の特徴である基礎医学修練でしか得ることのできない貴重なものとなりました。この基礎医学修練を通じて得られた成果は、指導教員の熱心な指導と手厚いサポートによってこそ実現したものであり、深く感謝しております。

今回の発表会は、有志の学生8名で構成された実行委員が主体となって運営しました。実行委員会は10月から活動を開始し、約3ヵ月間の準備の末、無事2日間の開催を終えることができました。

今年度ご支援いただきました助成金にしましては、優秀な発表を行った学生、優秀な質問をした学生、発表会の運営に携わった実行委員への副賞として贈呈いたしました。

基礎医学修練発表会が無事に運営できたのも、学生後援会の援助および多くの方々のご支援のおかげでございます。関係者一同、心より感謝申し上げます。



保健学科卒業研究発表会

開催 2024年11月19日 (放射線技術科学専攻)、11月21日 (検査技術科学専攻)、12月19日 (看護学専攻) 会場 オンライン (看護学専攻)、星陵オーデトリウム (放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻)

看護学専攻

医学部保健学科
看護学専攻主任
医学系研究科 緩和ケア看護学分野 教授

宮下 光令

2024年12月19日に看護学専攻卒業研究発表会が開催されました。看護学専攻の卒業研究配置は2年生の1月のため、71名の4年生が約2年間の成果を7分で発表し、4分の質疑応答を行いました。

Zoomを用いた3つの会場によるオンライン開催でしたが、どの会場でも堂々とした発表と活発かつ的確な質疑応答がなされ、4年間の学生の皆さんの成長を実感しました。内容は「実験研究」「調査研究」「文献研究」など多岐にわたり、年々レベルが向上しています。看護学専攻では卒業研究の結果を学会発表するだけでなく、論文投稿することを推奨しています。実際に毎年何人かの学生さんの卒業研究が英文雑誌にアクセプトされています。今年も何人か英語で卒業研究を書いた学生さんがいました。和文英文問わずぜひ論文投稿まで進めてもらえればと思います。

放射線技術科学専攻

医学部保健学科
放射線技術科学専攻主任
医学系研究科 画像解析学分野 教授

金田 朋洋

放射線技術科学専攻の卒業研究発表会は2024年11月19日に開催されました。年々時間が押す傾向が強くなり、今年度は朝から夕方までの長丁場となりました。

放射線技術科学専攻には分野が7つあり、それぞれ全く別の内容で研究を進めています。学生さんの発表も多岐にわたり、少し例を挙げますと、放射線治療学からは「進行肺がん患者に対する自動輪郭抽出ソフトウェアの精度評価」、画像情報学からは「拡散MRIにおける NODDI 信号値モデルのためのデジタルファントムの作成と評価」、画像解析学からは「リング型 SPECT 装置を用いたファントムによる線条体 SPECT の画像再構成条件の検討」といった具合です。学部生の間に最先端の研究を垣間見ることで、大学院や診療現場における研究活動のモチベーションアップに繋がることを期待しています。

検査技術科学専攻

医学部保健学科
検査技術科学専攻主任
医学系研究科 分子内分分泌学分野 教授

菅原 明

2024年11月21日に星陵オーデトリウムにおきまして、2024年度の検査技術科学専攻の卒業研究発表会が開催されました。

本専攻では、4年次の4月から11月まで卒業研究が行われますが、本年度は、37名の学生さんが、8ヵ月間の研究成果を発表されました。

検査技術科学専攻の分野で研究された学生さんのみならず、医科学専攻の様々な分野で研究された学生さんも多くおられ、発表内容は大変広範囲で多岐にわたっておりました。本専攻では多くの学生さんが大学院に進学されるのですが、皆さんにとって大変勉強になる有意義な発表会だったと思います。



①Zoomを用いた看護学専攻の発表 ②放射線技術科学専攻の発表 ③検査技術科学専攻の発表

学生受賞情報

東日本研究医養成コンソーシアム 第14回「夏のリトリート」

開催 2024年8月17・18日 会場 伊香保温泉 森秋旅館

医学教育推進センター
准教授

齋木 由利子



東日本研究医養成コンソーシアムは、医学生の研究マインドの滋養、他大学との医学生交流を目的とした学生主体の基礎医学研究発表会です。東北大学、北海道大学、新潟大学、金沢大学、群馬大学、山梨大学、東京大学、慶應義塾大学、順天堂大学、千葉大学、横浜市立大学の11大学が参加しています。

2024年は群馬大学が主幹で、8月17・18日に伊香保温泉で開催されました。研究を志す医学生が出会い、切磋琢磨し、将来の夢や目標、不安や悩みを語り合える貴重な機会となったと思います。また、主幹大学の学生が会議の準備、運営を献身的に行っている様子に、参加した学生はその運営スキルの高さにも驚かされたことでしょう。近年、日本の国際的な科学競争力の低下が懸念されるなか、将来の基礎医学を担う学生を育てていくためにも、このコンソーシアムの重要性が増していくと思います。



寺井遼平さんと幸田龍さん

口頭発表 最優秀賞

医学部医学科4年
寺井 遼平

発表課題名
「多能性幹細胞投与による染色体異常に対する新規治療法の開発」

現在取り組んでいる研究は、私が小学生の頃より夢見たものでした。この研究を一日でも早く世に送り出し、卓越した成果をもって医学の進歩に貢献できるよう、今後も日々研鑽を重ねてまいります。

ポスター発表 奨励賞

医学部医学科4年
幸田 龍

発表課題名
「参照系信号解析による脳外科手術の術前難易度/予後予測AIの開発」

腫瘍の硬さの非侵襲的な術前定量化を目指し、構造力学やAIなどデータサイエンスを駆使して、脳神経外科手術における病変の最大限の摘出と機能温存の両立という課題を解決していきたいと思います。

医学部学生奨学賞

開催 2025年1月9日 会場 医学部1号館大会議室



医学部学生奨学賞の受賞者と石井直人医学部長

	学年	氏名	研究主題目
最優秀賞	5	田久保 将人	「感情制御は津波からの避難にどのように貢献するか；fMRIを用いた認知神経科学研究」
優秀賞	5	菅野 愛	「心不全が大脳白質病変の変化に及ぼす影響：液性因子に関わる縦断観察研究」
	6	村山 安寿	“Payments by Drug and Medical Device Manufacturers to US Peer Reviewers of Major Medical Journals”
奨学賞	4	小久保 璃奈	「身長と食塩摂取量の組み合わせと収縮期血圧の関連：東北メディカルメガバンク地域住民コホート」
	6	天羽 瑛子	「Proline betaineは慢性腎臓病に対する新規予後予測マーカーになりうる」

学術活動

膵臓がんの細胞死を誘導する脂肪酸を発見

医学科の須田朱音さんらの研究グループが、膵臓がんの細胞死を誘導する脂肪酸を発見しました。早期発見が難しいとされる膵臓がんの治療は、抗がん剤による化学療法が大きな柱になっています。しかし、抗がん剤は強い副作用を引き起こすことがあり改善が課題。この発見は副作用のリスクが低い新たな治療法に繋がることが期待

されています。

「初めて基礎研究や膵臓がんに興味を持ったのは、高校生の時に参加した東北大主催の「科学者の卵養成講座」でした」と話す須田さん。この講座で「膵臓がんの抗がん剤耐性」というテーマに取り組んだ須田さんは、研究の面白さに開眼し、やがて本学に入学します。

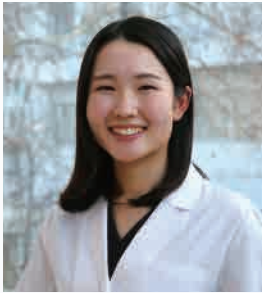
2年時の解剖実習で香川慶輝先生（現メルボルン大学フローリー研究所上級研究員）とのふとした会話をきっかけに今回の大きな発見につながる研究は動き出します。詳しくは右記QRコードからWeb記事をご覧ください。研究の経緯や学業と両立するために工夫したこと、今後の展望などのお話を伺いました。



インタビュー
2025/3下旬公開



医学部ウェブサイト
NEWS 2024/3/27【研究成果】



医学部医学科5年 須田朱音さん

海外留学報告会

開催 2024年10月30日 会場 星陵オーデトリウム

医学教育推進センター 准教授

齋木 由利子

2024年10月30日星陵オーデトリウムにて、海外留学報告会が行われました。選択制カリキュラムである高次臨床修練は、5年生の2月下旬～6年生の8月下旬まで、4週間ずつ6期間行われます。この期間を利用して、毎年多くの学生が海外の大学付属病院で研修を行います。タイのマヒドン大学、タマサート大学、台湾の台北医学大学、中国の香港大学、フィリピンの国立熱帯医学研究所とは部局間協定を結んでおり、定期的な学生の派遣と受け入れを通して交流を図っています。2024年度は、上記の協定校と、アメリカ合衆国、スウェーデン、フランスの大学に、計20名の学生が派遣されました。報告

会では、6名の学生から現4年生の学生に対して、留学で学んだことや、留学までの準備、留学先での生活などについて説明してもらい、活発な質疑応答が行われました。充実した留学生生活を過ごされたことが伝わってきました。



台北医学大学

2024年度 合同慰霊祭・遺骨返還式

開催 2024年11月21日 会場 仙台国際センター

医学科2年生が心をこめて参列
厳かで心に残る式典に

東北大学白菊会 常任理事
医学系研究科器官解剖学分野 教授

大和田 祐二

合同慰霊祭では、130名の献体された故人様に対して、安らかなる眠りのご冥福をお祈りしました。医学科2年の伊藤優月さんより慰霊の言葉が捧げられ、その後、ご遺族、教職員、学生が献花を行いました。

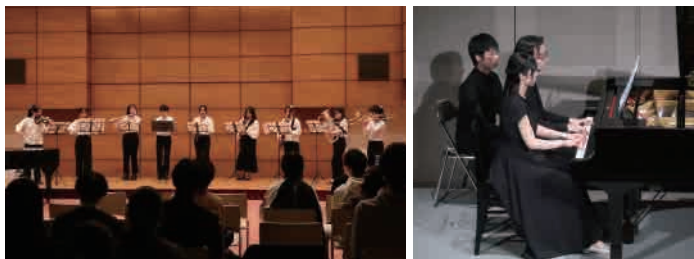
続いて午後には、遺骨返還式が行われ、84組のご遺族が参列されました。医学科2年の長谷部由さんから、故人ならびにご遺族への謝辞が述べられた後、ご遺族お一人お一人にご遺骨をお返しすることができました。



合同慰霊祭 学生受付



学生による献花



サークル紹介

星陵アンサンブル

多彩な音色でしあわせをお届けします。

部員数：104人
活動場所：医学部サークル棟
活動日：不定期



私たち星陵アンサンブルは、医学部を中心に弦楽器、管楽器、打楽器などさまざまな楽器の奏者が集まる音楽サークルです。部員は星陵キャンパス以外からも参加し、自由な雰囲気でも活動しています。昨年度は部員数が100人を超え、音楽の幅がさらに広がりました。年2回の定期演奏会では、ピアノ連弾や金管八重奏など多彩な編成でポップスやクラシックを演奏します。加えて地域貢献として病院でのコンサートも開催させていただいております。昨年は坂総合病院や東北大学病院で演奏し、「花は咲く」をお客様と共に歌うなど感動のひとつを共有しました。今後とも私たちの演奏を通じて皆様にしあわせな時間をお届けできるよう、部員一同精進します。応援のほどよろしくお願いいたします。

医学部医学科2年 伊藤 優月



サークル紹介

医学部ラグビー部

信頼し合える仲間と共に勝利を目指す。

部員数：18人(内プレイヤー13人、マネージャー5人)
活動場所：川内北グラウンド、長町小学校
活動日：[4~11月]火・木・日曜 [12~3月]木・土・日曜



私たち医学部ラグビー部は、「助け合うチーム」、「応援されるチーム」をモットーに、初心者、経験者問わず日々活動しております。上下問わずに意見を言い合うことのできる、風通しのよい環境作りに努めております。BBQ、芋煮会、慰安旅行など、イベントも定期的に開催し、プレイヤー、マネージャーともに楽しんでおります!!

現在は東北医科薬科大学、仙台大学と合同チームを組み、活動しております。また、S.R.C.という仙台を拠点に活動されている社会人チームや、仙台高専名取キャンパスラグビー部、中学生スクールのセルコバなどとも積極的に合同練習を行い、練習をより刺激のある、充実したものとしております。2025年度も、新たな新入生を迎え、より熱く活動してまいりますので、応援よろしく願いいたします!!

医学部医学科2年 茂木 勇瑠

東北大学生協 星陵購買書籍店

キャンパスライフを強力サポート

お弁当や飲料、日用品から書籍、白衣、パソコンまで並ぶキャンパスライフの強い味方。特に医学書コーナーが充実していて、教授厳選の参考書や国試対策本などが揃います。

お弁当はホットショーケースで日替わり提供する手づくりホット弁当が人気です。「医学部生はお弁当に野菜ジュースを組み合わせることが多く、栄養に気を配っている印象です」とお話しいただいたのは、スタッフの植竹明美さんと佐々木雪乃さん。星陵購買書籍店は10時~18時(土曜は~15時)営業、日曜・祝日が休みです。



お肉de麻婆豆腐丼 410円

お肉とお豆腐のボリュームに満足感がある、一番人気のホット弁当。少しピリ辛なので食が進みます。



佐々木雪乃さん(左)と植竹明美さん(右)

"学食"星陵食堂より

「レストランプラウのランチ」 800円

2024年12月、星陵食堂の一角に「レストランプラウ」がオープンしました。トマトチキンやビーフストロガノフ、ポークジンジャー、サバと彩り野菜の黒酢あん、牛たんカレーを日替わりで味わうことができます。



この日のランチは、きのこたっぷりのビーフストロガノフ、ごはん、スープ、サラダ、コーヒー付

【編集後記】

仙台は大変寒い日々が続いておりますが、保護者の皆様は如何お過ごしでしょうか？東北大学医学部学生後援会会報ナナセターの第34号が完成しましたので、お手元にお届けさせていただきました。今回は、医学部の基礎医学修練発表会や保健学科の卒業研究発表会など、学生さんの研究発表に関する記事が多かったと思います。東北大学は国際卓越研究大学に認定され、これからさらに研究力を加速していく方針ですので、今後とも保護者の皆様のご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

医学部学生後援会会報 ナナセター 編集委員長
医学系研究科 分子内分科学分野 教授

菅原 明



Nanase Letter

東北大学医学部学生後援会会報 ナナセター 第34号 2025年3月発行

本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

発行 東北大学医学部学生後援会
編集 東北大学医学部学生後援会会報 ナナセター編集委員
デザイン デザインマトカ
印刷 高橋写真製版

東北大学医学部学生後援会事務局

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1
TEL:022-717-7870
med-koen@grp.tohoku.ac.jp
©東北大学医学部学生後援会



東北大学医学部学生後援会
ウェブサイト
<http://www.koen.med.tohoku.ac.jp/index.html>

東北大学大学院医学系研究科・医学部
ウェブサイト
<https://www.med.tohoku.ac.jp/>

X
東北大学大学院医学系研究科
@tohoku_univ_med

Facebook
東北大学大学院医学系研究科・医学部
@Tohoku.University.School.of.Medicine

